



News@KIST

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 11 Issue 1 September 2008

In this issue...

- Dates to remember for Term 1
- 学校長からのメッセージ- 教員のpreparation week(準備期間)の説明
- ECEでの言語総合学習について
- PYPのParent Welcome Nightについて
- 新しい先生方の紹介

“教育はどれだけ記憶力に頼るか、また、どれだけ知っているかではない。教育は自分の知っていることと知らないことの区別をつけられることである。”

-- Anatole France

Dates to Remember

Term 1



October 6th:

Parent, Teacher, Student Interview Day

October 9th:

School Photo Day

October 18th:

School Explanation Day

October 24th:

Festival preparation day
(No Primary or ECE students)

October 25th:

School Festival

October 31st-November 2nd:

IBO Conference at KIST

November 5th—7th:

Grade 7 Camp

November 19th— 21st:

Grade 6 Camp

November 28th:

Inter-house Cross Country

December 5th:

Inter-school Cross Country

Principal's Message

2008-2009年度によろこそ。先週の保護者説明会ではたくさんの方に参加していただき、とてもうれしく思っています。お子さんの担任の先生と会えるこの機会、皆さんに楽しんでいただけたでしょうか。

この場を借りて、今学期の初めに行われた当校の先生達の研修についてお話したいと思います。

学習に対するの視野:

研修が行われた1週間の間に先生達は共に学校の学習に対するビジョンを考え、草案を作りました。その過程で私たちはグループで協力して学習プロセスを熟考し、全生徒にとって学習状況がすばらしい意味のあるものにぬする鍵となるアイデアを明らかにしました。そのことを踏まえて、私たちは全体にわたって学習者のために価値があると信ずる学習機会のタイプを定義し、それを文書にしました。現在、これらの文章を皆で見直していますが、近いうちに皆様を紹介できればと思います。これらの目的は、学校が保護者の皆様にお子さんがK.インターナショナルスクールにいる間にどのような種類の学習体験ができる機会があるかをきちんとお知らせすることです。私は校長として、先生達が真剣にこのアクティビティーに参加しているのを見てとても誇らしく思いました。彼らの努力を見ると、当校の先生達は学習過程を熟考し、常に自分たちのクラスで最大限の学習が行われるような方法を探しているということが分かります。

クラスルームでいい関係を作る:

この1週間の研修のもう一つの焦点として、良いクラス環境と生徒と良い関係を作る方法を常に探し続ける為の手助けをしてくれるようなアクティビティーをいくつかやりました。生徒が安全を感じ、学校に支えられていると思えるよう、また、生徒たちの間での人間関係を支えられるようにするため、先生、そして管理者としての役割を明確にさせました。いくつかのシナリオを与えられ、子供が関与している問題をどのように対処すればよいか、先生達は皆で話し合いました。その中には生徒が不適切な態度をとった場合どのような言葉を使って注意するか、生徒の問題に先生がどのように関わっていくかなども含まれていました。

お子さんの学習体験やクラス環境を通じて、これらのアクティビティーの成果が見られることを願っています。今年も皆様と協力し、お子さんの学校生活についてよく連絡を取り合って参りましょう。この1年をとても楽しみにしています。

Kind regards,
Sasha Marshall
School Principal

Parent Welcome Night

2週目に行われたParent Welcome Nightにご出席頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。Welcome Dayの運営方法の変更の狙いは、保護者の皆さんと教師の双方と一緒に広範囲で、より焦点のあった時間を過ごし、この一年に関する情報を共有することでした。この変更についての皆さんの反応は前向きなものでした。参加された皆様にお礼申し上げます。Parent Welcome Nightに述べられた情報は、改めて私たちに家庭とスクールの前向きな関係、探求の自由とすばらしさ、そして分化されたプログラムの前進的挑戦の大切さを思い起こさせました。

Integrated Language Learning in ECE

ECEにおける統合した言語学習

多くの皆さんがご存じのように、言語の学習は難しく、かつ失望感を与えるものです。でも幸運なことにECEの子供たちにとってはそれほど問題ではなく効率的です。調査や文献によると、生まれた時から思春期までが、子供たちの言語の発達にとって敏感に反応する時期だと言われています。この時期の積極的で意味のある言語体験が、第一言語並びに第二言語の効率的な向上を助長します。現在の言語学習に対する認識と個人的体験は、積極的で意味のある言語体験とは、目的を持った、実生活の状況に基づいたものであることを示しています。そこでは学習者はニーズや願望や興味にリンクした言語を使うからです。

このような状況に基づく言語の環境をECEの子供たちに促進していくために、K1,K2そしてK3の一部の日本語授業のやり方に変更を加えました。今年度から日本語教師は、割り当てられた時間に通常授業に加わり、英語教師と一緒に授業を行います。この時間に教師たちは、教室での授業を合同で協力して行い、日本語の使用を促進します。この合同授業は年間を通し変わります。時には日本語教師が生徒を遊びのアクティビティに従事させ、毎日の日課で日本語と英語の使用が応用できるようにします。また他の時間には教師が一定の日本語のアクティビティをセットし、生徒が参加するように促します。日本語と英語の教師が同時に協力して働くことで、生徒が同じ状況で両方の言語を聞き、使用できるようにしていきます。この変更が日本語が第一言語の生徒も第二言語の生徒も日本語のスキルに自信を持ち向上させていくことを期待しています。

Amanda Cooke

Lower School Principal

News from the Secondary Department

Tribe: 強い共通の特性と、あるいは興味を持った人の組、または集団(ウェブスター辞典)

かつては、プライマリーからセカンダリーへの移り変わりは怖いことと思われていたかもしれません。どこに私有物を置けばいいのか？自分の先生は誰だろう？誰と友達になれるのか？等等。グレード6, 7の始まりをスムーズに出来るように、グレード6, 7の教師達はこの変遷を楽にするための一週間を計画しました。このプログラムは、生徒の学問的、社会的、情緒的成果をどうやって最大限引き出すかについての幾つかの信念に基づいてデザインされました。

オリエンテーションの週の間、生徒はコミュニティを作るためにデザインされたたくさんのアクティビティに参加しました。私たちのねらいは全生徒がサポートされ高く評価されていると感じるような、総合的な学習コミュニティを作ることです。生徒は小さな学習コミュニティ、あるいはトライブに分けられました。各グループはグレード6, 7の男女から成っています。各グループはグループの旗や歌を作ったり、橋を建設したり、コミュニティ内に起こる日常の実際問題を解決するなど、たくさんの難問に直面しました。グループはこれらの難問を解決するために一緒に働き、またお互いについて、究極的には自分自身について更に学びました。コミュニティを作ることに加えて、生徒はロッカーを選ぶフェアな方法やクラスを皆が自分の居場所だと思える協力的な人を育てる場所にするにはどうすれば良いか等について解決することが出来ました。

オリエンテーションウィークは通常の授業が始まる前の金曜日に、グレード6, 7でエクスカージョンに参加し終了しました。生徒は一緒にその一日を楽しみました。このグループは引き続きこの1年間折に触れて会い、関係を深め、彼らの年齢層に見合った問題を解決していきます。先生たちはこのオリエンテーションウィークは大成功だったと思っています。生徒のコメントは彼ら自身に語ってもらいましょう。以下の通りです。

‘私たちは協力しなければならないので、すばらしいプログラムです。’

‘他のグレードの生徒と会って話せるのがよかった。’

‘一緒に問題を解決し、プランを慎重に考えるのはよかった。’

‘チームワークを学ぶのはおもしろい。’

‘私は協力的にできた。’

生徒の皆さん、この一週間本当によく頑張りました。また、Mr. Ash, Mr. Hough, Ms. Johnson, Mr. Vinegrad, Mr. Southall, 皆様のご協力に心から感謝します。

Alison Cox

Grade 6/7 Coordinator



Parent Evenings – Building Home-School Partnerships

先週の保護者説明会では生徒達が得られるたくさんのサポートを明確にすることができました。保護者説明会に参加された保護者の皆様は**Primary Years Program – Inquiry Learning**の理念を知ることができたと思います。Amanda Cookeと私は探求学習の大切さについて話し合いました。下記は私が話したことのまとめです：

The PYP

PYP (Primary Years Programme)は国際教育の様々な面をもったプログラムで、子供の全ての成長(心、身体的、感情、精神的成長)を助けます。

PYPは子供達を学校にいる間の将来だけでなく、その後の将来に備えます；一生学習していくことを働きかけ、発展させます。

プログラムには豊富な概念、重要で関連性のある知識、学力と社交スキル、幸福に対する考え方、個人的な行動などでできています。

Inquiry Learning 探求学習

人々は様々な方法で世界を探索します：観察、読書、じっくり考える、書くこと、聞くことなどを通して行います

探求学習は子供が他の子供や大人を意味のわかろうとする行動に引き込んでいくことで生まれます。

好奇心、困惑すること、驚きは探求の旅が始まる際に起こる事象です。

探求学習は子供たちの心が可能性で生き生きとした世界です。また、生徒の心をとらえ、興味をはぐむような経験、調査、実習を通して学ぶ世界です。

Parent Information Sessions 保護者説明会

1年を通して、保護者の皆様にPYPや探求学習についてもっと学べる機会を設けます。これらは以下のようなものです：

新入生の保護者の皆様やPYPが初めてという保護者の皆様にPYPと探求学習を紹介するワークショップ

探求学習についてのワークショップ

保護者の皆様が知りたいという分野を中心にしたワークショップ

Communication コミュニケーション

1年を通して、スクールニュースレターに保護者の皆様のご家庭で出来るお子さんのサポートについて書いていきたいと思いま

す。そして時々お子さんが**PYP Parent Overviews**をご家庭に持ち帰ります。これには現在学習している

探求のユニットのことや、お子さんのサポートの仕方などが書かれています。

The Programme of Inquiry 探求のプログラム

PYPのお子さんの保護者の方はすでに2008–2009年度の探求のプログラムの概要をもらっていると思います。これはスクールコミュニティ全体の方に各学年でどのような探求ユニットを学習するかを知ってもらうためにあるものです。

まだ受け取っていない場合は担任の先生にご連絡ください。

Paul Langtree

PYP Coordinator

Primary and ECE Portfolios

K国際学校では現在の教育研究と考え方よりも進んだものを取り入れるように努力しています。現在学校で行われていることを調査し、より良いものにする為に、時に独自の調査を行います。2008-2009年度はK1-G5の先生方が生徒のポートフォリオの使い方とまとめ方についての研究します。ポートフォリオは生徒が1年間の自身の学習を他と共有し、振り返るために使われています。ポートフォリオは生徒が様々な分野で理解を深め、スキルと知識を身につけて成長をしたということを生徒自身と生徒の家族が分かる為の手助けをします。今年学校のスタッフと生徒は様々な新しい方法で作品を集め、提示し、作品から見られる成長についてや、ポートフォリオの中でこれらがどのように共有されているかを考えます。現在スタッフは学年内と外で今年のポートフォリオをそれぞれどのようにしていくか計画を立てています。そのため、ポートフォリオの中身や、まとめ方がクラスによって異なります。近々お子さんの担任の先生から今年のポートフォリオのやり方についてお知らせがあると思います。年の終わりには先生、生徒たち、保護者の皆様が新しいポートフォリオのまとめ方を来年どのように変えたいかを振り返る機会があります。スクールコミュニティの皆様のサポートを借り、この研究プロジェクトが生徒の学習の共有の仕方にいい変化をもたらすことを願っております。

Welcome to our New Staff

新しいスタッフを紹介します。この機会をお借りし、スクールコミュニティを代表して今学年度からメンバーに加わる新しい教師の皆さんを紹介します。昨年スクールを去られた先生は少なかったのですが、スクールの発展に伴う生徒数の増加により、たくさんの新しい先生を迎えることになりました。幸運なことに、私たちはこのような活気に溢れた経験ある先生を迎えることが出来ました。今学年度を彼らと一緒に働けることを楽しみにしています。皆さんが彼らと会い、親しくなって頂けたらと思います。

 <p>Jordi Casas: j_casas@kist.ed.jp Jordi Casasは、Primaryを担当するPE教師です。</p>	 <p>Allan Gale: Mr Galeは、2年前ぶりにKISTに戻ってきました。Grade1を担当します。</p>	 <p>Heather Watson: h_watson@kist.ed.jp Heather は、Peggyと一緒にK2HPクラスを担当します。</p>	 <p>Beverley Sterling: b_sterling@kist.ed.jp Beverleyは、Jessicaと一緒にK2JBを担当します。</p>
 <p>David McKinnon : d_mckinnon@kist.ed.jp David McKinnonは、ESL教師としてGrade 4 と5を担当します。</p>	 <p>Desiree Brown Quilty: d_brownquilty@kist.ed.jp Ms Brown Quiltyは、SecondaryのMathematicsの教師です。DPプログラムのHL Mathematicsを担当します。</p>	 <p>Daryl Bates: d_bates@kist.ed.jp Mr Batesは、secondaryのartの教師です。Grade 6からGrade 12までを担当します。</p>	 <p>Anne Grahame: secondary@kist.ed.jp Ms Grahameは、Upper School Principalです。現在出張中ですが、間もなく戻ってきます。</p>
 <p>Morena Christian (Mrs Christian by primary students, Morena by ECE students) m_christian@kist.ed.jp Mrs Morena Christianは、ESL教師として Grade 3とK3を担当します。</p>	 <p>Michael Bates: m_bates@kist.ed.jp Mr Michael Batesは、secondaryのIB—ITGSとBusiness Managementの教師です。また、Grade 10のTechnologyも担当します。</p>	 <p>Brian Doyle: b_doyle@kist.ed.jp Mr Doyleは、secondaryのMathematicsの教師です。Grade 8からGrade 12までを担当し、DPではSL Mathematicsを教えます。</p>	 <p>Glen Johnston: g_johnston@kist.ed.jp Ms Johnstonは、Grade 6/7の教師です。Grade 7のMathematicsとScienceを担当します。</p>
 <p>Mario Citta: m_citta@kist.ed.jp Mr Cittaは、Grade 8のEnglishとHumanitiesを担当します。また、secondaryのESLも担当します。</p>	 <p>Ross Ferris: myp_co@kist.ed.jp Mr Ferrisは、新しいMYP Coordinatorです。また、secondaryのPEとTechnologyも担当します。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">Welcome!</p> <p style="font-size: 3em; font-weight: bold;">We hope that you enjoy being part of our team!</p>	